

From Wakayama to Asia, and to the World

Students' Activities Supported by CTR



9月18日 「7th UNWTO Global Youth Summit on Urban Tourism」 (@Seoul)

世界観光機関 (UNWTO) の国際会議に韓国8大学及び本学が参加したプログラムで、都市観光活性化に関するアイデア発表およびディスカッションが行われ、本学代表の学生2名が特別賞を受賞しました。



9月29日 「Tourism and SDGs Session at Wakayama University」

内閣府平成30年度国際青年育成交流事業の一環として、UNWTO学生ボランティアグループの代表4名が、観光の観点からのSDGs達成についての事例紹介を英語で発表し、参加者とともにディスカッションも行いました。



2月5日 「持続可能な観光」国際シンポジウム 2019 (@奈良)

観光庁・奈良県共催の国際イベントで、UNWTO学生ボランティアグループの代表2名が、CTRの支援のもとで行っている出版物の翻訳協力や、観光教育に関するコンテンツ開発の取り組みを英語で紹介しました。

<編集・発行>

和歌山大学 国際観光学術センター Center for Tourism Research

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 西1号館1階

TEL: 073-457-7025

E-mail: info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

Web: <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>

Tourism News

UNWTO Tourism Highlights 2018

日本語版翻訳協力

世界の観光統計集の日本語版翻訳に本学の有志学生が協力しました。同冊子の日本語版発行を担当するUNWTO駐日事務所とCTRが2015年から連携し、取り組みを続けています。



Research Support

SPSS貸し出し開始

分析ソフトウェア (IBM SPSS, SPSS Amos) を整備しました。CTR研究員であれば学内での利用が可能です。ぜひご活用ください。

インセンティブ制度拡大

学内のCTR研究員を対象に、観光分野に関連した競争的資金の申請及び、論文掲載に対し、インセンティブ経費を配分します。ぜひご活用ください。

CTR NEWSLETTER

No.2
March, 2019

CTR Partnership

UNWTO Academy 和歌山大学が日本で初めて取得した観光教育、研究、訓練プログラムの質の向上を目的とした国際認証であるTedQualを管轄するUNWTO Academy との同意書を締結

し、2018年12月3日に締結式を行いました。本学が日本での代表機関として国内での当認証制度の認知度を高めるとともに、普及・促進に貢献することを目指します。



CTR Researchers' Activities

2018年度CTR研究集会開催 CTR研究支援プロジェクト (右記参照) 及び、機能強化研究ユニットプロジェクト (Food & Agriculture, Digital Media & Information, Space & Mobility, DMO) の中間報告が11月9日に実施されました。また、CTR専任研究員3名によるパネル

ディスカッションでは、今年度の年間テーマである「Tourism and SDGs」をテーマに議論が交わされました。客員研究員等による発表や、学生、他部署教員の参加もあり、プログラム時間内に開催された交流会でも意見交換が行われ、CTRを軸に研究文化が広がっています。(参加者19名)



BSU-Wakayama Center of Tourism Education and Research

本学の提携校であるウズベキスタンのブハラ国立大学 (BSU) 内に、11月21日、ブハラ国立大学和歌山大学観光教育研究センターが開設されました。ウズベキスタンでも近年、観光教育への関心が高まっており、CTRを中心に本学との協力関係の構築を進めています。今後、学生交流を始め、共同での教材作成や観光研究といった連携活動が発展していくことが期待されています。また、和歌山県や和歌山市等、行政間の連携への展開も望まれています。

CTR研究支援プログラム採択プロジェクト

CTR内部の競争的資金の位置付けとして、8件の研究プロジェクトが2018年4月に採択されました。詳細はCTRウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/projects/ctrsupport/>) にてご覧いただけます。

CTR 研究員出版業績

CTR研究員の論文や著書等の業績をCTRウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publication.html>) で紹介しています。ご覧ください。

Visitors and Events—Autumn and Winter from 2018 to 2019

9月15日～18日 Prof. Graham Miller (Professor, University of Surrey / 和歌山大学特別主幹教授) 来学
集中講義、セミナー実施

9月15日～18日
(観光学部・観光学研究科集中講義) Sustainability and Tourism

9月18日 CTR Seminar Series 2018 – Tourism and SDGs- Vol.4「Driving Sustainable Tourism through Data」

産官学連携で開発を進める Global Sustainable Tourism Dashboard と European Tourism Indicator System の紹介の他、世界、地域、企業各レベルでのデータ活用に関する課題が指摘されました。また、日本の観光産業の現況をデータで捉え、今後の業界の取り組みに提言が示されました。

(参加者19名)



11月4日～16日 Prof. Richard Sharpley (Professor, University of Central Lancashire / 和歌山大学特別主幹教授) 来学
集中講義、セミナー実施

11月13日～18日 (観光学部集中講義) Dark Tourism Project
11月5日～8日 (観光学研究科集中講義) Tourism Development and Community

11月16日 CTR Seminar Series 2018 – Tourism and SDGs- Vol.6「Dark Tourism: A route to peace and reconciliation?」

ダークツーリズムの概要に触れ、ルワンダ虐殺の事例研究から実際のダークツーリズムの利点と課題が紹介されました。学部生の参加が多かったですが、英語での質疑応答も活発に行われました。(参加者10名)



11月26日～30日 Prof. Cathy Hsu (Professor, The Hong Kong Polytechnic University) 来学

CTR短期研究員招へい制度、セミナー、リサーチコンサルテーション実施

11月27日 CTR Seminar Series 2018 – Tourism and SDGs- Vol.7「Resident Sentiment of Tourism: Construct and Model Development」

香港の住民が、増加する中国本土からの旅行者に対して抱く感情について定量・定性調査を行った研究結果が、世界情勢や学術的理論を交えながら紹介され、香港を事例に日本でのインバウンド対策についても提言がありました。(参加者57名)



12月3日 「2018 TedQual・観光学教育フォーラム in 東京」

※パネリスト: Dr. Lisa Ruhanen (The University of Queensland)、Dr. Edith M. Szivas (UNWTO Themis Foundation)、轟 博志 教授 (立命館アジア太平洋大学)、藤田 武弘 教授 (和歌山大学)



TedQual認証の監査官や認証取得大学の代表者によって、制度の概要や事例紹介の他、日本における観光学教育の課題や在り方、質保証についてのパネルディスカッションが行われました。認証取得のプロセス自体が、自組織の教育プログラムの現状と課題把握に直結し、意義があると強調されました。(参加者27名)

10月30日 CTR Seminar Series 2018 - Tourism and SDGs - Vol.5「Relationships of Japanese Soldiers and Northern Thai People: Oral History-Based War Museum Development on Dark Tourism」

※講師: Dr. Amnaj Khaokhruamuang (国際観光学研究センター)



タイ北部における戦争歴史解釈を事例に、口述歴史のメディアミックス展開により歴史認識を広め、ダークツーリズム発展を図るアプローチが紹介されました。(参加者8名)

1月11日 CTR Seminar Series 2018 - Tourism and SDGs - Vol.9「人新世における自然遺産とエコツーリズム: 現場の実態を踏まえて議論する」

※講師: Dr. Abhik Chakraborty (国際観光学研究センター)

観光客視点の商業的エコツーリズムではなく、自然環境体系そのものの実態と限界を正しく把握した上で、自然地域の観光マネジメントや自然遺産ガバナンスの構築を進めることが本質的な持続可能な観光の実現には重要であるとの議論に基づき、具体事例が研究プロジェクトから紹介されました。(参加者4名)



1月24日 CTR Seminar Series 2018 – Tourism and SDGs- Vol.10「Surfing “Contaminated” Seas: Life and Polluted Leisure in the Wake of Fukushima’s Triple-disaster」

※講師: Dr. Adam Doering (国際観光学研究センター)

継続して取り組んでいる福島での研究プロジェクトの報告があり、国外の研究者の反



応や現地の様子が写真等で紹介された他、新たな試みとして制作中のインタビュー動画も投影されました。研究手法や内容についてセミナー時間内外で参加教員や院生らと活発な議論が行われました。(参加者15名)

12月14日 観光教育研究セミナーin和歌山 CTR Seminar Series 2018 - Tourism and SDGs - Vol.8「観光とビッグデータ」

※基調講演講師: 岩崎 隆司 氏 (株式会社NTTドコモ)、長谷川 明彦 准教授 (阪南大学)、大井 達雄 教授 (和歌山大学)

各講師から、観光とデータに関わる変遷について、人口分布・人口動態統計ソフトを通じた地方創生の活用事例について、観光行政におけるデータ活用事例や分析システムについてそれぞれ紹介がありました。観光分野でも特に、地域創生の視点でのデータ活用の重要性について考えを深めました。(参加者30名)



Upcoming Events

5月中旬@CTR会議室

CTR Seminar Series 2019 Vol.1「(タイトル未定)」開催

※講師: Prof. Tom Hinch (和歌山大学特別主幹教授 / Professor, University of Alberta)

5月下旬@CTR会議室

CTR Seminar Series 2019 Vol.2「Forest Tourism and Political Ecology (仮)」開催

※講師: Dr. Jundan (Jasmine) Zhang (CTR短期研究員 / Umeå University)

※その他最新情報はCTRウェブサイトをご参照ください。